勝北中学校だより　第２号

燦たり 勝北中学校

勝北中HP→

令和8年5月8日
文責：神田 智弘

学校教育目標「志を持ち、未来に向かって力強く生きる生徒の育成」

先日の授業参観・PTA総会・懇談会には多くの保護者の皆様にご参加いただき大変有難うございました。また今後、自由参観日も設けております。中学校へのお越しをお待ちしています。

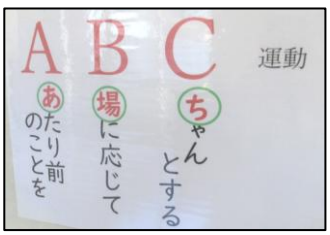
さて、4月のスタートから約1ヶ月
5月連休も終わり、様々な活動が本格的に始まります

1か月間、教職員一同生徒と共に活動し、その様子を観てきました。
多くの生徒が仲間とより良い関係を築こうと気を使い合い、また学習面でも授業に対して前向きに臨もうと努力している姿も感じられます。
いよいよ本格的に授業や様々な活動がスタートしますが、これから我々教職員は生徒の学習や活動の意欲を引き出す努力を続けてまいります。

当たり前のことを 場に応じて ちゃんとする

これは3年生が心がけている「ABC運動」のことばです。
A（あたり前のことを） B（場に応じて） C（ちゃんとする）

その場に応じた行動や態度というのは簡単なようでとても難しいものです。しかし、こうした行動が社会生活を送る上で大変大切な力や武器であることを、我々大人は身に染みて感じることがあります。
あいさつや言葉遣い、人と接する態度、身の回りの整理整頓等、このABC運動は、間もなく義務教育が終了し社会人に近づく3年生に望ましい態度やマナー、規律を身につけてもらいたいという願いが込められている取組であると考えます。
もちろん、3年生だけでなく1・2年生にも身につけてもらいたいと思います。また私たち教師や大人も気を付けたいものです。







勝北中の下足箱　・　教室のロッカー

生徒玄関脇に咲く元気なパンジー
紫パンジーの花言葉は「信頼」





アンネの薔薇

玄関横には「アンネの薔薇」が凛とした姿で大変美しく咲いています。
「アンネの日記」で有名なホロコースト犠牲者のアンネフランクに捧げられた薔薇は、その父から日本に寄贈され、今では多く株分けされて、「愛と平和のシンボル」となり全国で咲いています。
勝北中は数年前に、この一株をもらい受け、大切に育ててきたと聞いています。
学校へお越しの際に、この「アンネの薔薇」もご鑑賞ください。

【今後の主な予定】※なお、詳細は各学年・学級からの便りや案内をご覧ください。

5月　12日（火）　津山市学校教育センター部会（45分×5校時）
　　13日（水）　歯科検診
　　15日（月）～17日（日）　津山市総合体育大会
　　18日（月）　心音・心電図検査
　　20日（水）　眼科検診
　　21日（木）　耳鼻科検診
　　27日（水）～29日（金）　3年生修学旅行　2年生職場体験学習
6月　5日（金）　3年実力テスト
　　9日（火）　自由参観日
　　10日（水）　自由参観日　懇談会
　　11日（木）　生徒総会



全国学力・学習状況調査
英語科コンピュータテストに臨む3年生

1年生閑谷研修での高評価（4月30日）

入学して1か月。1年生が初めての校外学習に臨みました。

今回の閑谷研修の合言葉は「一致団結」。それぞれの小学校から中学校にやってきたばかりの1年生は、この研修を合言葉通り「一致団結」してやり遂げることができたようで、講堂学習を担当された閑谷研修センターの所長様から、その態度や積極的な発言を大いにお褒めいただきました。

後日、所長様にお礼の電話を入れた校長に「勝北中生徒の姿勢にこちらも気持ちよく研修を行うことができました。これからの活躍に期待しています」との言葉もいただきました。

引率した教員にとっても今後の1年生の大いなる可能性を感じた1日となったようです。

これからも中学生として、仲間と共に成長する姿が様々な場面で見られることを楽しみにしています。



閑谷学校の国宝「講堂」で論語の授業を受ける1年生



がっちりスクラム「一致団結」

【心の支えとなる「座右の銘」に～論語の中から】

「己の欲（ほっ）せざる所は、人に施（ほどこ）すこと勿（なか）れ」

自分が望まないこと、自分がされていやなことは、他の人にしむけない思いやりの心が大切である。

「過ちて改めざる、是（これ）を過ちと謂（い）う」

だれにでも過ちをしてしまうことはあるものだが、本当の「過ち」というのは過ちをしても改めようとしないことである。同じ間違いを決して起こさないと心がけることが大切である。

「これを知る者はこれを好む者に如かず、これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」

物事を良く知っていることは大切なことだが、知っているだけでは、その事を好きな人には及ばない。更に、その事を好きな人も、その事を楽しんでいる人には及ばない。

「なぜ・どうして？」と問いを楽しむ大切さ～大切にしたい生徒の好奇心～

子ども達の頭や心には無限の引き出しがあります。これまでの勉強はその引き出しに誰かが物をつめてくれていました。しかし、これから大切にしたいのは、生徒が自分の引き出しに自分からいろいろな事柄（知識や体験）を詰め込みたいと思う人に育てることです。

生徒たちが「これも知りたい」「あれも知りたい」「そのことが楽しい」と思えるような好奇心を刺激する活動や授業を勝北中でも実現できたらと考えます。

身の回りにある「なぜ・どうして」という「？」があふれています。今、求められているのは、その身の回りにある「？はてな」に気づき、その事を楽しみながら調べることのできる力です。



イメージ図



「読書は心の栄養」　朝読書の取組

勝北中の朝は「読書」から始まります。

本が大好きな子、それほど読まない子、みんな一斉に本に向かっている姿があります。こうした光景は今、中学校でなかなか見られない取組になってしまいました。

情緒の安定や脳の活性化等、読書の効果は多く言われていますが、何より本を読むことが楽しいと思えるような人を育てる、勝北中の大切な取組の一つであると考えます。

図書スペースに掲示されている心を打つ言葉